2014年12月11日(木) 鉄鋼新聞 (3)

JFEシビル

立体駐車場受注 倍増の60億円へ

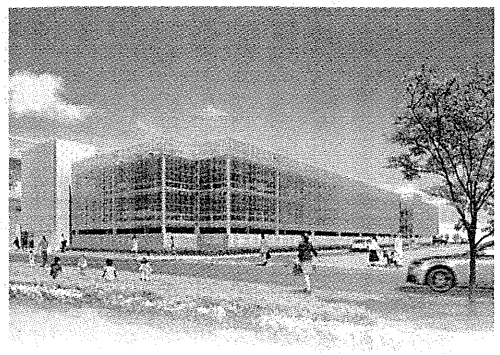
成田空港向けなど大型受注寄与

JFEシビル（社長・藤井善英氏）の立体駐車場の14年度受注が前年比倍増の60億円となる見通しだ。中部国際空港など空港案件で培った公共施設向けの提案力が高い評価を受けており、成田空港や富山県高岡市に新設される北陸新幹線新高岡駅で大型立体駐車場を受注。沖縄・那覇空港でも大型案件を受注する見通しで立体駐車場建設における存在感を着実に高めている。

受注したのは成田国際空港発注の「A―8簡易立体駐車場新築工事」。駐車場の延べ床面積は1万6958平方㍍で5層6段、654台が収容できる。梓設計による基本設計が行われ、駐車場メーカー3社、建設会社1社の4社による入札の結果、受注に至った。同社は設計施工による元請受注工事を行う。工期は来年8月までで、成田空港での受注実績は3基目となる。

新高岡駅では北陸新幹線開通に伴う新高岡駅前整備計画で、山本建設を幹事会社とする特定建設工事共同体が駐車場設置工事を落札。入札に協力していたJFEシビルが認定駐車場のメーカーとして採用され、上部駐車場工事一式を行う。延べ床面積は9633平方㍍で3層4段、461台を収容できる。工期は来年2月までの予定。

那覇空港で受注が見込まれるのは那覇空港ビルディング発注の「那覇空港新立体駐車場（仮称）建設工事」。設計は安井建築設計事務所で駐車場の規模は延べ床面積2万9478平方㍍で5層6段、1226台収容の大型のもの。同社は立体駐車場の実施設計と上部駐車場工事一式を担う。工期は1期が15年4～12月、2期が16年1～9月までで、今後元請建設会社の入札を経て着工の見込み。



北陸新幹線・新高岡駅の立体駐車場完成予想図